

---

# 高 槻 中 学 校 合 格

---

平川 慶汰 くん

(所属 西宮教室)

高 槻 中 学 校 合 格

清 風 中 学 校 合 格

岡 山 白 陵 中 学 校 合 格

テ ー マ 私の志望校と受験校

## 「目標は高く！」

ぼくは、4年生から浜学園に通い始めました。最初は、受験をするかしないかも決めていない状態からのスタートでした。4年生の間に、たくさんの学校説明会に通って、自宅からの時間、学校の特徴、校風などを見て回りました。その中で、西大和に行きたいなと思い、本気で受験をしようと決め、志望校にしました。

決めた時点では、成績は十分ではなかったけれど、目標は高いほうがいいと先生に言われたこともあり、最後まで西大和を第一志望にしていました。

6年生になってから、偏差値なども考えて受験校を決め始めました。

夏期講習が終わった時点で、西大和にはD判定しかつかなくて、あきらめようかとも思った時もありましたが、両親や先生の助言もあり最後まで第一志望校として目指すことにしました。

受験校を決めたのは、11月を過ぎてからでした。その時期に少しずつ成績も上がり始め、やっぱり第一志望校をあきらめたくなかったので、塾の先生のアドバイスを参考にしつつ、校風や特徴がよく似ていた高槻を第二志望校に決めたくて、実際に受験をする学校を決めて行きました。

前受験を岡山白陵と愛光にして、統一日の午前に高槻を受け、午後から清風プレミアム理Ⅲ選抜を受けました。次の日に、午後入試の西大和を受けに行きました。

結果として、西大和は不合格となりましたが、第二志望にしていた高槻は合格しました。

倍率が高い中、合格最低点よりもかなり上の点数で合格できたのは、最後まで西大和を第一志望にしていたからだだと思います。西大和をあきらめて、高槻を第一志望にしていたら、A判定がついているのを見て、油断していたかもしれません。

受験が終わった時は、少し悔しい気持ちもあったけれど、今は高槻中学に行けることが楽しみでなりません。ぼくの小学校からは、高槻中学に行くのは一人だったので、不安になりましたが、浜学園でできた友達も高槻に行くことがわかり、その点でも浜学園にしてよかったなと思いました。

最後になりましたが、ぼくが一番力を出せるように受験校のアドバイスをしてくださった先生方、合格をするためにいつも見守ってくださったアドバイザーの方、本当にありがとうございました。